

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成23年8月11日(2011.8.11)

【公開番号】特開2010-33889(P2010-33889A)

【公開日】平成22年2月12日(2010.2.12)

【年通号数】公開・登録公報2010-006

【出願番号】特願2008-194951(P2008-194951)

【国際特許分類】

H 01 B 13/00 (2006.01)

C 01 B 31/02 (2006.01)

C 09 D 5/24 (2006.01)

H 01 B 1/20 (2006.01)

【F I】

H 01 B 13/00 5 0 3 Z

C 01 B 31/02 1 0 1 F

C 09 D 5/24

H 01 B 1/20 Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年6月29日(2011.6.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

酸性基(a)を有する水溶性導電性ポリマー(A)、ナノ炭素材料(B)及び溶媒(C)を含有するナノ炭素材料含有組成物を、基材の少なくとも一方の面上に塗工して塗膜を形成する塗膜形成工程と、

該塗膜形成工程の後に、前記酸性基(a)が脱離するよう下記(1)～(4)の何れか一つの加熱処理条件で前記塗膜を加熱する脱離工程、とを含む耐水性導電体の製造方法。

加熱処理条件(1)：150以上200未満の温度範囲にて10分以上加熱

加熱処理条件(2)：200以上230未満の温度範囲にて5分以上加熱

加熱処理条件(3)：230以上260未満の温度範囲にて40秒以上加熱

加熱処理条件(4)：260以上500未満の温度範囲にて10秒以上加熱

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の耐水性導電体の製造方法は、酸性基(a)を有する水溶性導電性ポリマー(A)、ナノ炭素材料(B)及び溶媒(C)を含有するナノ炭素材料含有組成物を、基材の少なくとも一方の面上に塗工して塗膜を形成する塗膜形成工程と、

該塗膜形成工程の後に、前記酸性基(a)が脱離するよう下記(1)～(4)の何れか一つの加熱処理条件で前記塗膜を加熱する脱離工程、とを含む方法である。

加熱処理条件(1)：150以上200未満の温度範囲にて10分以上加熱

加熱処理条件(2)：200以上230未満の温度範囲にて5分以上加熱

加熱処理条件(3)：230以上260未満の温度範囲にて40秒以上加熱

加熱処理条件(4)：260以上500未満の温度範囲にて10秒以上加熱